



“しょうがいしゃが暮らしやすい” まちの実現を目指して 諦めない心



北島 多佳子氏

幼くしてご自身がしょうがいをもち、車いすの生活となりました。地域で暮らす中でこれまで何度も障壁にぶつかりましたが、“しょうがいがあっても地域とのつながりをなくさない、人と人として関わる”しょうがいしゃが暮らしやすいまちの実現は、みんなが住みやすいまちになるため、諦めない心をもってお伝えしています。

しょうがいしゃが暮らしやすいまちの実現のために、これまでされてきた具体的な活動内容について教えてください

大別すると、団体での活動と個人的な活動があると思います。団体は国や市の制度に関する問題、あるいは駅のバリアフリー化のような大きな課題に取り組んできました。平成17年（2005年）には市の「しょうがいしゃがあたりまえに暮らしまち宣言」の宣言制定検討会の一員として参画しました。

個人的な活動としては、学校を訪問して車いすの講話や車いす体験、ボッチャの普及活動など行っています。

活動している中で意識していることや大切にしていることを教えてください

“しょうがいがあっても地域とのつながりをなくさない。人と人として関わる。” 具体的に言うとう、車いすが通りやすいまちは、お年寄りや子ども、妊婦さんにとっても使いやすいくち、気づいたことは市へ伝えていくようにしています。

例えば、多摩障害者スポーツセンターの角の横断歩道と車道に溝があり、車いすを手漕ぎで操作する人にとっては前車輪（キャスター）がひっかかり転倒したり、ケガをすることが多いです。電動車いすでは簡単に通れても手動車いすは少しの凸凹の段差が危険なので、市に伝えて

直してもらいました。

他にも、甲州街道の歩道に伸びてきた木の枝を切ってもらいました。おかげで私はもちろんのこと、自転車の人、歩く人もベビーカーを押す人も、みんなが今は通りやすくなっています。まちは色んな人が関わって住みやすくなります。

さらに、矢川駅のバス停はちょうど車いすのスロープを引き出すところに花のプランターがありました。うまく止めることが出来ず運転手さんが苦労していたため、市に相談したところ解決することができました。

活動を通して印象に残っていることを教えてください

国立駅の京王バス・バス停は乗り場の幅が狭く、真ん中に柱が立っているため車いすの車輪がはみ出してしまうという、いつも怖かったです。しかしある時から幅が大幅に広くなり、とても驚きました。諦めきっていたことが突然叶ったのです。あまりに嬉しかったので、京王バスのお客様係に「安全で乗りやすくなりました。この印象的な出来事を機に、諦めないで伝えていくことを大事にしました。」

活動を通して嬉しかったことを教えてください

市内の学校に行くと、まち中子どもたちに会うことがあります。そ

の時子どもたちから声をかけてくれて、私の方はこの小学校が覚えていないので聞き返すことも多いですが、私のことを覚えていてくれて嬉しかったです。

また、自宅前の歩道には車いすに当たる雑木があり、危なかったため市役所に話しに行きました。東京都の管理のためすぐの対応は難しいとのこと、半ば諦めていたら、後日綺麗になくなっていました。市の人々が頑張ってくれたんだあと嬉しかったです。

今後の活動及び展望などを教えてください

市内の小学校や高校などに訪問したいです。いつも私が学校に伺う前に車いす体験をしているので、少しは理解してくれているみたいです。車いすでも電車やバスにも乗れるし、買い物したり食事に行ったり、みんなと同じようなことが出来ると知ってもらいたいです。

また、展望がもう一つあります。国立で生まれて育ったこの町が大好きで詩を作りました。「この道が好き」の歌をみんなに歌ってもらいたいです。そして市内のイベントなどで歌ってもらえるような歌になって欲しいと思っています。

この歌は私が25歳、養護学校を卒業して初めて電動車いすで公民館内にある「喫茶わいがや」に通った時の誇らしい気持ち、世界が輝いて見えた気持ちを歌ったものです。わいがやは健康者としてようがい者が一緒に働ける場の第1号でした。自宅と養護学校をスクールバスで往復するしかなかった私が、誰にも頼らず一人で国立駅舎に向かつて歩くのは最高の気分でした。わいがやは今も健在で、今回の表彰で「障害をこえてともに自立する会」も一緒に受賞できたのは驚きと嬉しさでいっぱいでした。



▲左：家の近くの草木が生えて通りにくくなった所と、

右：切ってもらって通りやすくなった所の様子

この道が好き

一、この道が好き

春になるとピンクになる道
花びら舞い散る中を歩くのが好き
いつも通る
駅まで続く長い道

二、この道が好き

夏になるとみどりになる道
何気なく一人木陰で休むのが好き
いろんな人に
今日も出会える並木道

三、この道が好き

秋になると黄色になる道
カサカサ音を立てて歩くのが好き
晴れた朝には
たき火の煙匂う道

四、この道が好き

冬になると茶色になる道
歩道橋から見える白い駅が好き
あたたかい日に
散歩したくなる大学通り

作詞 北島多佳子
作曲 遠藤 信男